

# 指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立城山障害者デイサービスセンターつくしの家
指定管理者名	特定非営利活動法人 福祉協会しろやま
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	相模原市立城山障害者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の障害者及びその介護を行う者に対し、通所による生産活動、創作的活動、介護方法の指導等の便宜を供与することによって障害者の自立と社会参加を促進し、もって障害者の福祉の増進に寄与する。 ※障害福祉サービス事業(就労継続支援B型)を実施。
施設概要	開所時間:午前8時30分から午後5時15分まで 休館日:日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで 年間開所日数:268日 敷地面積:947.00㎡ 延床面積:301.00㎡ 主な施設:訓練・作業室、多目的室、静養室・相談室、更衣室、シャワー室、事務室、トイレ、倉庫
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

## 2 管理実績

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数合計(人)	4,497	4,290	4,589	4,879			
自立支援給付費合計(円)	34,833,918	35,304,621	39,148,095	41,862,259			
収入総額(円)	36,865,850	37,218,928	41,320,334	43,829,043			
支出総額(円)	30,911,162	33,977,147	37,890,919	28,578,673			
工賃支払額(円)	1,432,871	1,408,000	1,686,476	1,099,634			

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響や利用者の退所があったものの、養護学校の卒業生が新たに2名加わったことから開所日1日当たりの平均通所者数は、前年比で1.2人分増加し目標値を達成した。 また、年間の延べ利用者数が6%程度増加していることから、引き続き、コロナ対策を行いつつ目標値を達成できるよう施設運営を行ってほしい。

### 指標

指標名(単位)	開所日1日当たりの平均通所者数 単位:人
指標式と指標の説明	年間延通所者数÷開所日数 施設を利用し、生産活動、創作活動等の便宜を受けることにより、障害者の福祉の増進が図られるため、1日当たりの平均通所者数(年間延通所者数÷開所日数)を成果指標とする。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(人)	19.5	20.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
実績値(人)	16.7	15.9	17.1	18.3			
達成度(%)	85.6%	79.5%	100.6%	107.6%	0.0%	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>市が指定する事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で自粛する事業もある中、就労継続支援B型事業については、感染対策を講じ、企業から受注した紙袋の製作、製品の分解、シール貼りなど様々な生産活動の機会を提供できたことは評価できる。今後のコロナの状況にもよるが、利用者の就労支援について、引き続き期待する。</p> <p>また、自主事業については、本来休所日となる土曜日についても、重度の障害のある利用者を対象に余暇活動支援を行っていることは、その家族の負担を軽減することにもつながっている。さらに地域の見守りを兼ねている地域清掃は、参加者の地域社会への参画を促進し、住民とのコミュニケーションにもつながることから非常に評価できる。</p>

#### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
就労継続支援(B型)の事業	通年	利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行う。また、利用者に対し、その有する能力を活用することにより、地域生活を営むことができるようにするため、利用者の心身の特性に応じた必要な訓練を行う。※受注作業：紙袋の製作、水道メーターの分解、バルブの組立、チラシの封入、公共施設の清掃等。	◎
職場実習	通年	利用者が就労継続支援(B型)計画に沿って実習できるよう、実習の受入先の確保を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に対する適性や要望に応じた職種・実習の受入先の確保に努める(令和2年度は、コロナの影響により、実施しなかった。)	/
求職活動の支援	通年	公共職業安定所での求職登録等、利用者が行う求職活動の支援を行う。また、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者の就労に関する適性や要望に応じた職場開拓に努める。(令和2年度は、コロナの影響により、実施しなかった。)	/
職場安定のための支援	通年	利用者の職場定着を促進するため、公共職業安定所、障害者就労・生活支援センター及び盲学校、聾学校、養護学校などの関係機関と連携して、利用者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援を継続する(令和2年度は、該当者いなかった。)	/

#### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)			

#### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
土曜開所	通年	重度の障がい者等(療育手帳の判定Aの方や30歳未満の利用者等)を対象に毎月土曜開所日(隔週)を設け、余暇等を支援	◎
社会参加促進事業	通年	地域の見守りも兼ねて、定期的(1日/週)に地域の清掃活動を実施。新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、社会性やマナーの習得、余暇支援として宿泊体験やバーベキューの行事を実施。	◎
地域との交流	9月、11月	イベント(城山地区福祉のつどい共催)を開催し、地域住民や関係機関の方々との交流を図る予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。	/

## 5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>D</b>	前年度と比較し、「ふつう」と回答した人が3名増えているが、概ね5割の利用者が「大変良かったと思う」と回答し、かつ、「不満がある」との回答はなかった。また、コロナ禍においてももしっかり感染症対策を講じた上で、就労継続支援B型事業のみならず、自主事業についても可能な範囲で実施されていることから、利用者は前回と同様に概ね満足しているものと推測する。 ※コロナ禍で事業が例年どおり実施できなかった点を考慮し、通常時の前年に置き換えて「ふつう」を2名として仮定すれば、「C」評価に値する。

### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	利用者20名に対して3月にアンケートを実施
目標値の基準	「施設を利用して良かったと思いますか」との問いに対する5段階評価のうち「大変良かったと思う」、「まあまあ良かったと思う」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (%)	91.1	91.7	92.3	92.9	/	/	/
実績値 (%)	84.2	100.0	90.0	72.2	/	/	/
達成度 (%)	92.4%	109.1%	97.5%	77.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

### その他の取組

取組事項	時期	取組内容
ご家族との連携	通年	新型コロナウイルス感染症の影響により、定期的な情報交換会は、1回の開催、利用者、ご家族との親睦旅行及び新年会は中止となった。
利用者打ち合わせ	通年	利用者の要望等の傾聴、利用者同士のトラブル解決の場として毎月1回実施
意見箱の設置	通年	利用者が気軽に意見を伝えられるように、事業所内に意見箱を設置

## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	経営規模は指定管理事業に比して大きくはないが、寄付金収入によって正味財産は55%増加し、積立資産が総資産の52.4%を占める程充実した資産内容である。資金流動性、自己資本比率共に極めて高い。経営上特段の課題はない。

### 施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	37,219	41,321	43,830
指定管理料	0	0	0
利用料金収入	0	0	0
訓練等給付費、利用者負担金等	35,703	39,639	42,650
就労支援事業収益	1,516	1,682	1,180
支出 (b)	33,978	37,891	29,167
人件費	27,154	30,730	23,285
就労支援事業費	1,408	1,686	1,100
その他の支出	5,416	5,475	4,782
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	3,241	3,430	14,663
自主事業収入 (d)	0	0	0
自主事業支出 (e)	自主事業に係る経費は、本体事業の経費に含まれる。		
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	3,241	3,430	14,663
備考			

### 団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	所管課職員による現地確認及びヒアリング
実施時期	令和2年8月17日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

## 8 指定管理者の自己評価

企業からの受注作業の提供は、コロナ禍で若干減少はしましたが、ほぼ昨年度と同様に提供することができました。職場実習は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施しませんでした。希望する利用者や対象者もありませんでした。就労継続支援B型の事業所ではありますが、行事を楽しみに日々頑張る利用者がほとんどであり、利用者満足度の結果については、コロナ禍により行事が実施できなかったこと、受注作業の内容変更により手当が下がったことが影響していると考えています。

## 9 所管課意見

・本市が指定する「就労継続支援B型事業」は、日ごろから様々な作業を企業から受注していたことから、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられるが、利用者に対して、作業の提供を止めることなく、工賃（平均4,082円/月）を支給することができたことは評価する。引き続き、利用者のために企業等との連携を保持するとともに、コロナの影響により積極的に行うことができなかった職場実習などの就労を希望する利用者に対しての支援にも力を入れていただきたい。

・また、令和2年度も自主事業として、重度の障害のある方等の余暇支援のために土曜日を開所するなど、利用者やその家族に寄り添った支援を行っていることを評価する。

## 10 選考委員会意見

### 【評価した点】

- ・ 毎年、支援学校等から新たな利用者が入所していること。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響があったにも関わらず、しっかりコロナ対策を行い平均通所者数を向上させたこと。
- ・ 重度の障害のある利用者等を対象に本来休所日となる土曜日を開所し、利用者の余暇活動の支援とその家族のレスパイトに貢献したこと。
- ・ ボランティア活動として、地域の見守りを兼ねた清掃活動を実施したこと。

### 【今後期待する点等】

- ・ 利用者満足度が昨年度から減少している点は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が楽しみにしている運動会やお祭りなど例年実施していた行事が軒並み中止となったことなども原因と推測される。その中でも、コロナの状況に注視し、万全の対策を行いながら数少ない行事を実施できたことは評価する。引き続き、新型コロナウイルス感染症の対策を講じて、利用者が安心・安全に利用できるような施設運営を行うこと。
- ・ 現在の「利用者の満足度」を調査する方法は、母数が少ないことから、結果に偏りが出てしまうことが想定されるため、年2回以上実施するなど調査の実施方法について検討して欲しい。

### 総合評価（自動判定）

